

畑作技術情報

発行 令和2年7月22日

第5号

たいせつ農業協同組合

営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

春播き小麦の適期収穫に向けて

収穫の遅れは穂発芽の発生やアミロ粘度の低下等による品質低下を招くため、今後の天気予報を考慮しながらほ場毎に収穫適期を把握し、収穫作業に当たって下さい。また、ほ場周辺及びほ場内の雑草や異品種を除去しましょう。

◆収穫の準備

- 特に以前作付けしていた作物の野良生えが見受けられる場合は麦に混入しないよう、事前の抜き取りを徹底しましょう。
- 収穫作業の効率を高めるため、ほ場毎の登熟状況を予測し、収穫乾燥の準備を進めます。
- コンバインによる収穫適期は秋まき小麦と変わらず子実水分が30%以下になってからです。ただ春まき小麦の場合、子実水分は穂によってばらつきやすいため、ほ場全体を見て慎重に判断しましょう。
- 成熟期(子実水分40%)以降は、好天が続くと急激に水分が低下するため、こまめに子実水分を測定し、収穫適期の判断に努めます。

※本所営農センターとライスセンターに水分計を設置しておりますのでご活用ください。

雑草処理は確実に

次年度へ向け、連作ほ場などでは特に雑草の発生が多くなってくるため、病害・収量・刈り取り作業に大きな影響を与えるため耕起前に必ず雑草処理を徹底して下さい。

※ただし、ラベルに記載されている注意事項を必ず守り、ドリフト低減ノズル等の器具の使用を基本として農薬の適正使用、ドリフトの防止に努めましょう。

除草剤名	適用雑草	使用時期	10a 当り薬量	安全使用基準
ラウンドアップ マックスロード	雑草茎葉散布 多年生雑草	耕起前まで (雑草生育期)	200ml～ 500ml	3回
タッチダウン i Q (秋播き小麦のみ)	雑草茎葉散布 多年生雑草	耕起3日以前 (雑草生育期)	500ml～ 750ml	1回
クサトリキング	雑草茎葉散布 多年生雑草	耕起前まで (草丈30cm以下)	250ml～ 500ml	3回

麦類作付者の皆様へ

例年行っている麦類の生産履歴の受付につきまして、本年は個人記帳用の用紙を先に回収させて頂きます。用紙に記載漏れがないように必要事項を記載のうえ、最寄りの営農センターに機会を見て必ずご提出下さい。